

第3・4学年算数科学習指導案

<第3学年>

1 単元名 「分数」(東京書籍 3年)

2 単元について

(1) 教材について

学習指導要領における第3学年の内容のA領域(6)分数の意味や表し方には、「分数の意味や表し方について理解できるようにする」とある。

本単元では、分数の意味や表し方を理解させるとともに、加法及び減法ができることを知り、それらの計算のしかたを考え、計算ができるようにすることをねらいとしている。

児童は第2学年で $1/2$ や $1/4$ など簡単な分数について学習しており、分数についての基礎的な学習活動をしてきている。また、第3学年「小数」では、単位量に満たないはしたの大きさを、単位量を10等分した1こ分を0.1としてその何こ分で表すことを学習した。

本単元では、それをもとにして、「半分にする」という操作や「10等分したいくつ分」では表せない場面を取り上げ、単位量を任意に等分するというアイデアを引き出す。さらに、単位分数にあたる大きさを意識させ、そのいくつ分にあたるかを考えさせることで、分数の意味や表し方を理解させる。

(2) 児童について

児童は、課題に対しては意欲的に解決しようとする。間接指導の時には、算数リーダーの進行により、自分たちの考えを発表し合ったり、答え合わせをしたりできるようになった。しかし、既習内容を生かして問題解決することが苦手の児童がおり、自力解決の際には個別の指導が必要となる児童がいる。また、解決方法が理解できたり答えが分かったりすると、進んで発表しようとし、自分の考えを図などを使って説明することができるようになってきたが、相手に分かりやすく伝えるという点では十分とはいえない。

(3) 指導にあたって

指導にあたっては、数直線や図、模型など視覚的な手がかりを多く用いて、自力解決させたい。さらにペア学習で互いの考えを確かめ合い、全体の発表に生かしていく。伝え合うという点においては、図で書いたものの意味を言語化して書いたり話したりして表現させるようにすると同時に、聞く側の聞き取る力も養っていききたい。そして、算数リーダーの育成もさらに進めながら、自分たちの力で課題を解決しようとする意識を高めたい。

3 単元の目標

○分数の意味や表し方、分数の加法及び減法の意味について理解する。

【関心・意欲・態度】

- ・分数を用いると、整数で表わせない等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表わせるよさに気づき、生活や学習に用いようとする。

【数学的な考え方】

- ・分数は都合に応じて単位量を n 等分した1こ分を単位としていることをとらえ、分数の表し方や分数の加減計算の仕方を考え、表現することができる。

【技能】

- ・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを分数を用いて表すことができる。

【知識・理解】

- ・分数が用いられる場合や分数の表し方について知り、分数の意味や分数の加法及び減法の意味について理解する。
- ・端数部分を表す数として、小数と分数があることを知り、 $1/10$ の位までの小数と分母が10の分数の関係について理解する。

日 時 平成24年11月6日(火) 5校時
児 童 第3学年 男3名 女2名 計5名
第4学年 男4名 女4名 計8名
指導者 鈴木 祥子
(藤原くに子 ふれあい共育推進員)

<第4学年>

1 単元名 「分数」(東京書籍 4年)

2 単元について

(1) 教材について

学習指導要領における第4学年の内容のA領域(6)同分母の分数の加法・減法には、「分数についての理解を深めるとともに、同分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。」とある。

本単元では、分数の意味や表し方についての理解を深めるとともに、同分母分数の加法や減法の仕方を考え、それらの計算ができるようにすることをねらいとしている。分数の加減計算については、帯分数を含むものも指導する。

第3学年での分数の学習では、単位量より小さい量が単位量を等分した何こ分ととらえることによって、分数を用いると表せることを理解している。また、分数が数直線に表せることを理解させ、数直線を手がかりとして分数を単位分数の何こ分と見たり、簡単な同分母の分数の加減計算をしたりして、分数の構成的な理解を深めてきている。

本単元では、量の単位をはずして数直線上に表すことなどを通して、抽象化してとらえていくことが重要である。

(2) 児童について

児童は、算数の学習には意欲的に取り組んでいる。発表意欲もあり、課題に対しては既習内容をもとに解決しようとしたり、式や図を用いて説明したりできるようになった。また、間接指導時でも、算数リーダーの進行で、ある程度話し合いもできるようになってきた。しかし、根拠をもって説明することや相手の考えを受け止めて、自分の考えを分かりやすく伝えようという意識は十分ではない。

(3) 指導にあたって

数直線や図を手がかりとして、真分数、仮分数、帯分数の意味や関係を視覚的に捉えさせたい。また、自分の考えを図や言葉、文章等で書かせる時間を十分に確保し、それをもとにペアで説明し合う活動を多く取り入れたい。全体で交流する際には、ある児童の考えを他の児童が説明することなどを通して、友達考えの妥当性や有用性・便利さなどのよさを見つける目を養っていききたい。そして、深まりのある話し合いをさせながら、進んで課題を解決しようとする意識を高めたい。

3 単元の目標

○分数についての理解を深めるとともに、同分母の分数の加法及び減法の意味や計算の仕方を理解し、それらを用いることができるようにする。

【関心・意欲・態度】

・1より大きい分数を仮分数や帯分数で表すことのそれぞれのよさに気づき、学習に用いようとする。

【数学的な考え方】

・単位分数の大きさに着目して、同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考えたり同値分数について小数と異なる分数の特徴としてとらえたりすることができる。

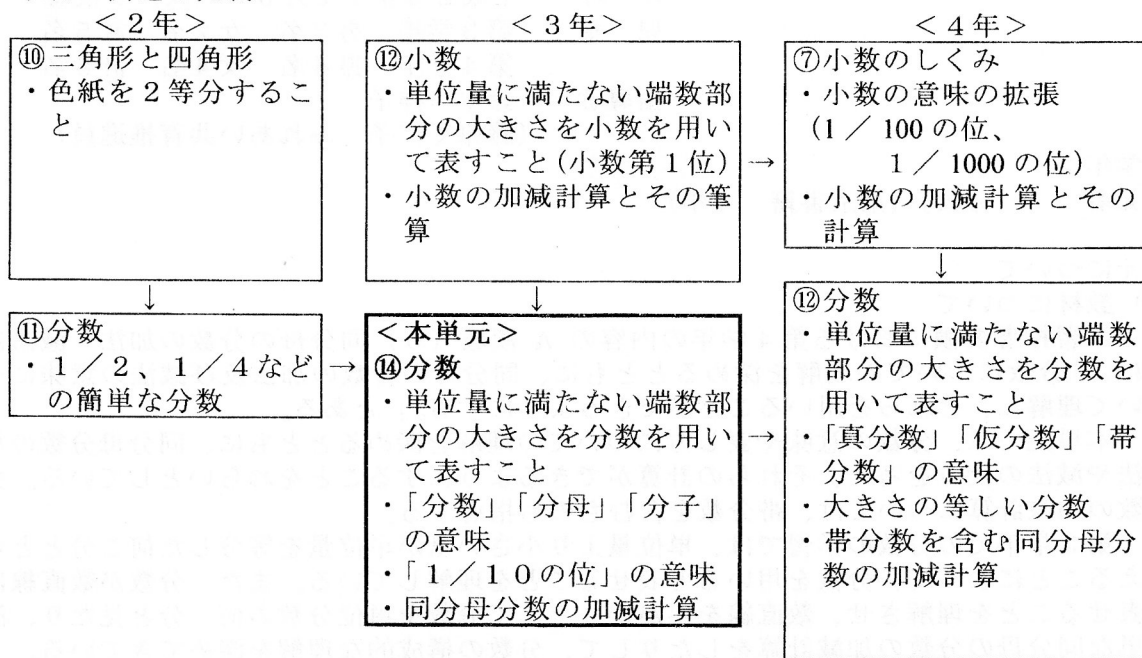
【技能】

・1より大きい分数を仮分数や帯分数で表したり、同分母の分数の加法及び減法の計算をしたりすることができる。

【知識・理解】

・分数の意味や表し方について理解を深めるとともに、同値分数に着目することや同分母の分数の加法及び減法の意味や計算の仕方について理解する。

4 教材の関連と発展



5 単元指導構成表 (10 時間)

別紙参照

6 本時の指導

(1) 目標

- 分数の加法及び減法の計算の仕方について理解し、その計算ができる。

(2) 評価規準

【数学的な考え方】

- 単位分数の何こ分で考えると、整数と同じように分数の加減計算ができることを式や図を用いて考え、説明したりまとめたりしている。

【知識・理解】

- 分数の加減計算の仕方を理解している。

(3) 仮説にかかわって

< 視点 1 >

- 式や図を用いて、「 $1/10$ の何こ分」という言葉を使い、計算の仕方を表現させる。

< 視点 2 >

- ペアの話し合いでは、相手に分かるように話すようにさせる。また、全体の話し合いでは、それぞれの考えの共通点やよさを話し合わせる。

教材の関連と発展

< 3年 >

< 4年 >

< 5年 >

- ⑭分数
- ・分数の表し方
 - ・「分数」「分母」「分子」の意味
 - ・同分母分数の加減計算

- < 本単元 >
- ⑫分数
- ・分数の表し方
 - ・「真分数」「仮分数」「帯分数」の意味
 - ・大きさの等しい分数
 - ・同分母分数の加減計算

- ⑧分数と小数
- ・除法の結果と分数
 - ・分数と小数、整数の関係

- ⑩分数のたし算とひき算
- ・同値分数のつくり方
 - ・「約分」「通分」の意味
 - ・異分母の分数の加減計算
 - ・分数と小数の加減混合計算
 - ・分数を用いた時間の表し方

- ⑭分数のかけ算とわり算
- ・乗数や除数が整数である分数の乗除計算

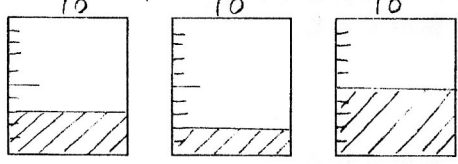
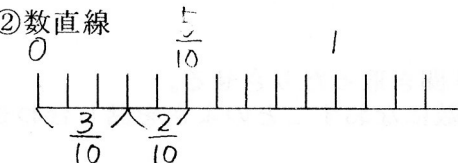
単元指導構成表（10時間）
別紙参照

本時の指導

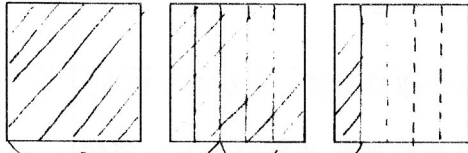
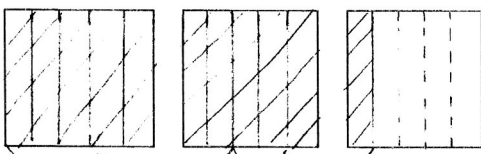
- 1) 目標
 - ・同分母の帯分数の減法計算の仕方を理解し、その計算ができる。
- 2) 評価規準

【数学的な考え方】	・同分母の帯分数の減法計算の仕方を、帯分数の加法計算の仕方を基に考え、図や式を用いて説明している。
【技能】	・同分母の帯分数の減法計算ができる。
- 3) 仮説にかかわって
 - < 視点 1 >
 - ・ $2\frac{1}{5} - \frac{4}{5}$ の計算の仕方を図や式を用いて表現させる。
 - < 視点 2 >
 - ・ペア学習で自分の考えを相手にしっかり伝えたり聞き取ったりさせる。
 - ・全体の話し合いでは、互いの考えの妥当性や仮分数になおすことのよさを話し合わせる。

(4) 展開

段階	学習活動と主な発問	指導上の留意点 (◇:研究の視点、評価)	備考	形態
つかむ 10分	<p>1 問題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ジュースがパックに $3/10$ L、びんに $2/10$ L 入っています。あわせて何 L ありますか。 </div> <p>○どんな式になりますか。 ・ $3/10 + 2/10$</p> <p>○答えはどうなるでしょう。数直線で調べてみましょう。 ・ 答えは $5/10$ だ。 ・ $0.2 + 0.3 = 0.5$ だから</p> <p>2 課題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 分数のたし算のしかたを考えよう。 </div> <p>3 見通し</p> <p>○何を使って答えを出しますか。 ・ 1 L ますの図 ・ 数直線 ・ 計算</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小数のたし算ができることを想起させ、分数もたし算ができることを確かめる。 ・ 前時に使った数直線を使い、小数の値を見ながら答えを予想させる。 ・ 答えが $5/10$ になるかを確認し、そのわけを説明させる活動に重点を置く。 ・ 一つの方法で解決したらほかの方法でも解決するようにさせる。 	問題文の揭示 1 L ますの図 数直線	直接
やってみる 10分	<p>4 自力解決</p> <p>○自分の考えた方法で答えを出しましょう。</p> <p>○発表シートに書きましょう。</p> <p>① 図 $\frac{3}{10} + \frac{2}{10} = \frac{5}{10}$</p>  <p>② 数直線 $\frac{5}{10}$</p>  <p>③ 式で考える(計算) $3/10 + 2/10 = 5/10$ $1/10$ の 3 こ分 + $1/10$ の 2 こ分は $1/10$ が 5 こ分だから</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小数のたし算は 0.1 を基に考えたこととおさえ、分数の場合を考えさせる。 ◇ 自分の考えた方法で $1/10$ の何こ分という言葉を使いながら答えの求め方を書かせる。(視点1) ・ 図や数直線で解決した児童にもたし算の仕方を言葉で書かせる。 ◇ ペアで相手に分かるように話したり聞いたりして、考えを交流する。(視点2) ・ 相手の考えを繰り返し話すことで交流させたい。 <p>【考】単位分数の何こ分で考えると、整数と同じように分数の加減計算ができることを式や図を用いて考え、説明したりまとめたりしている。(発言・ノート)</p>	図 数直線 発表シート	間接

(4) 展開

形態	学習活動と主な発問	指導上の留意点 (◇:研究の視点、評価)	備考	段階
直接	<p>1 問題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> $2\frac{1}{5} - \frac{4}{5}$ の計算の仕方を考えましょう。 </div> <p>2 課題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 帯分数のひき算のしかたを考えよう。 </div> <p>3 見通し</p> <p>○このままでは分数部分がひけるでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ひけない。 ひけないから仮分数にしてからひけばいい。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習の分数のひき算との違いに気づかせ、課題意識をもたせる。 	問題の揭示	つかむ 5分
間接	<p>4 自力解決</p> <p>○仮分数になおす方法で答えを出してみよう。また、図に表して答えを確かめよう。</p> <p>・ $2\frac{1}{5} - \frac{4}{5} = 1\frac{6}{5} - \frac{4}{5} = 1\frac{2}{5}$</p>  <p style="text-align: center;"> $1\frac{2}{5}$ 残る $\frac{4}{5}$ ひく </p>	<ul style="list-style-type: none"> 計算の仕方を図をもとに考えさせるようにする。 <p>◇ $2\frac{1}{5} - \frac{4}{5}$ の計算の仕方を図をもとに考えさせ、ノートに表現させる (視点1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 早く終わった児童には別の方法でも取り組ませる。 	面積図 (児童用)	やってみる 15分
直接	<p>・ $2\frac{1}{5} - \frac{4}{5} = \frac{11}{5} - \frac{4}{5} = \frac{7}{5}$</p>  <p style="text-align: center;"> $\frac{7}{5}$ 残る $\frac{4}{5}$ ひく </p> <p>○ペアで計算の仕方を説明し合いましたよう。</p>	<p>◇ペア学習で考えを相手にしっかり伝えたり聞き取ったりさせる。 (視点2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の考えと比べながら話すようにさせる。 <p>【考】同分母の帯分数の減法計算の仕方を図を基に考え、説明している。(発言・ノート)</p>		

<p>たしかめる 10分</p>	<p>5 全体での交流・検討 ○自分の考えを発表してください。</p> <p>○答えの出し方で同じところや似ているところはどこですか。 ・ $1/10$ が何こ分かで考えている。 ・ $3+2$ をしている。</p> <p>○よいところはどこでしょう。 ・ 式で考えると分子だけたせばよい。 ・ 簡単にできる。</p> <p>○ $7/10 + 3/10$ の仕方を説明しましょう。 $7/10 + 3/10 = 10/10 = 1$</p>	<p>・ ペア学習を生かし、友達の考えも含めて発表させるようにする。</p> <p>◇それぞれの考えの共通点やよさを話し合わせる。 (視点2)</p> <p>・ $1/10$ を基にしているので分母は変わらないこと、分子だけたし算すればよいことをおさえる。</p> <p>◇ペアで計算の仕方を話し合わせる。 (視点2)</p>	<p>間接</p> <p>直接</p>
<p>まとめる 5分</p>	<p>6 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>分数のたし算では分子だけたします。</p> </div>	<p>・ リーダーを中心に自分の言葉でまとめさせる。</p>	<p>間接</p>
<p>ふかめる 10分</p>	<p>7 練習問題</p> <p>8 ふりかえり ○今日の勉強で分かったことやがんばったことを発表しましょう。</p>	<p>・ 教科書の練習問題に取り組ませる。</p> <p>【知】分数の加減計算の仕方を理解している。 (発言・ノート)</p>	

<p>直 接 間 接</p>	<p>5 全体での交流・検討 ○計算の仕方を発表してください。</p> <p>○どのようなことに気をつければ、正しく計算できますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分数部分がひけないときは仮分数にしてひけるようにすればよい。 <p>○ $3\frac{4}{5} - 1\frac{3}{5}$ は</p> <p>どのように計算すればよいでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数は整数で、分数は分数で計算すればいい。 ・仮分数になおさなくてもいい。 (なおさない方がはやい。) 	<p>◇計算の仕方を図や式を基に、説明させる。(視点1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ $1\frac{2}{5}$ と $\frac{7}{5}$ は等しいことを図を用いて確かめさせる。 <p>◇答えの妥当性を確かめ、仮分数になおすよさ、なおさないよさをそれぞれ確かめさせる。 (視点2)</p>	<p>発表シート</p>	<p>たしかめる</p> <p>10分</p>
<p>直 接</p>	<p>6 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>帯分数のひきざんで分数部分がひけないときは、仮分数になおして計算する。</p> </div> <p>7 練習問題</p> <p>8 ふりかえり ○今日の勉強で分かったことやがんばったことを発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の言葉でまとめさせる。 ・教科書の問題に取り組ませる。 仮分数になおすかどうかを数値を見て判断させる。 <p>【技】同分母の帯分数の減法計算ができる。(ノート)</p>		<p>まとめる</p> <p>15分</p>

問題

ジュースがパックに $3/10$ L、
びんに $2/10$ L 入っています。
あわせて何 L ありますか。

式 $3/10 + 2/10 = 5/10$

答え $5/10$ L

課題

分数のたし算のしかたを考えよう。

図

数直線

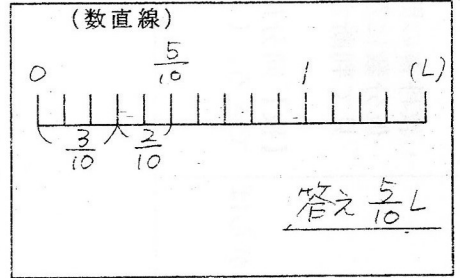
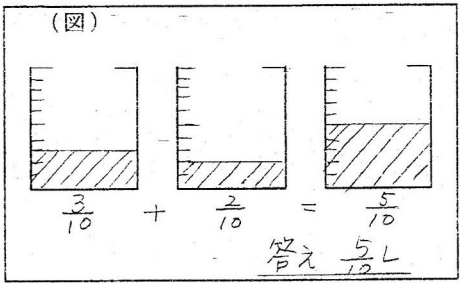
式で考える (計算)

まとめ

分数のたし算では分子だけたす。

$7/10 + 3/10 = 10/10$
 $= 1$

練習問題



(式で考える)

$3/10 + 2/10 = 5/10$

$1/10$ の 2 こ分と $1/10$ の 3 こ分をたすと $1/10$ の 5 こ分になる

答え $\frac{5}{10}$ L

問題

$2\frac{1}{5} - \frac{4}{5}$ の計算の仕方を
考えましょう。

課題

帯分数のひき算のしかたを考えよう。

まとめ

分数部分がひけないときは仮分数になおしてから計算する。

答えの予想

- 1より大きい
- 2より小さい

方法の見通し

分数部分が引けないから仮分数になおせばよい
図

$$2\frac{1}{5} - \frac{4}{5} = \frac{11}{5} - \frac{4}{5}$$

$$= \frac{7}{5} \quad \left(1\frac{2}{5}\right)$$

(図)



(分数部分を仮分数に)

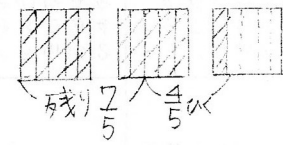
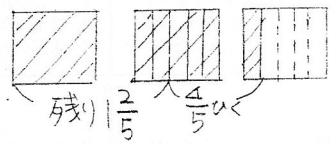
$$2\frac{1}{5} - \frac{4}{5} = 1\frac{6}{5} - \frac{4}{5}$$

$$= 1\frac{2}{5}$$

(帯分数を仮分数に)

$$2\frac{1}{5} - \frac{4}{5} = \frac{11}{5} - \frac{4}{5}$$

$$= \frac{7}{5}$$



$$3\frac{4}{5} - 1\frac{3}{5} = 2\frac{1}{5}$$

整数どうし、分数どうし計算する。
仮分数になおさない方がはやい。

練習問題

次	第1次 分けた大きさの表し方				第2次 分数の大きさの表し方			第3次 分数のたし算とひき算		まとめ
時	1	2	3	4	5	6	7	8(本時)	9	10
目標	1 mを3等分した1こ分の大きさを分数で1/3と表すことを理解する。	分数の大きさは、単位分数の何こ分で表すことを理解する。	「分数」「分母」「分子」の用語の意味を知り、液量についても端数部分の大きさを分数で表せることを理解する。	算数的活動を通して、等分することや単位分数の何こ分で大きさを表すことを理解を深める。	数直線に表された分数を読み取り、分数の大きさの表し方や大きさの表し方について理解する。	単位分数の何こ分という表し方をもとに、単量を超える大きさも分数で表せることを理解する。	分母が10の分数と1/10の位までの小数の関係について理解する。	分数の加法及び減法の計算の仕方について理解し、それらの計算ができる。		学習内容を確し、理解を確実にする。
課題	1 mを3等分した1こ分の長さの表し方を考えよう。	1 mを3等分した2個分の長さの表し方を考えよう。	1 Lを等分したときの水のかさを表そう。	分数のものさしを作ろう。	分数を数直線に表そう。	1より大きい分数を表そう。	分母が10の分数の大きさについて考えよう。	分数のたし算のしかたを考えよう。	分数のひき算のしかたを考えよう。	
算数的活動	<ul style="list-style-type: none"> 1 mを3等分した1こ分の長さの表し方を考える。 根拠をもとに表し方を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1 mを3等分した2こ分の大きさの表し方を考える。 自分の考えを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習を水のかさについて、1 Lを等分した何こ分かの体積の表し方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数ものさしをつくらせて、いろいろな物の長さをはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1/5 mの2こ分3こ分4こ分の長さを数直線に表す。 5/5 mは1 mであることを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1/5 mの6こ分7こ分...の長さを数直線に表す。 10/5 mは2 mであることを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 分母が10の分数と小数を数直線に表す。 分数と小数との大小比較をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数のたし算のしかたを説明したりまとめたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数のひき算のしかたを説明したりまとめたりする。 	
まとめ	1 mを3等分した1こ分の長さを1/3 mという。	1 mを3等分した2こ分の長さを2/3 mという。	$\frac{2}{5}$ 分子 分母 このような数を分数という。水のかさも分数で表すことができる。		分数も数直線に表すことができる。 $\frac{5}{5} = 1$	1より大きい分数は分子を大きくして表すことができる。 $\frac{10}{5} = 2$	1/10 = 0.1 小数第1位のことを1/10の位ともいう。	分数のたし算では分子だけたせばよい。	分数のひき算では分子だけひけばよい。	
評価規準	【関】1 mのテープを3等分の長さの表し方をもとに考えようとしている。 【知】1 mを3等分した1こ分の長さを1 mの「三分の一」といい、「1/3 m」と書くことを理解している。	【知】2/3 m分は1 mを3等分した2こ分の長さであることと理解している。	【技】1 Lを等分し、それを何かさか集めた大きさを、分数で表すことができる。 【知】分数、分母、分子の意味を理解している。	【関】学習内容を適切に活用して、活動に取り組もうとしている。 【考】分数は都合に応じてn等分して表すことを考えている。	【技】数直線に表された分数の大きさを読み取ることができる。 【知】5/5は1と等しい大きさであることを理解している。	【考】整数や小数と同じように、単位の何こ分として分数をとらえられたいことを考え、説明している。 【知】単量をを超える大きさも分数で表せることを理解している。	【知】数直線の上に表された分数と1/10を単位とした分数について、その大きさや小数との関係を理解している。	【考】単位分数の何こ分で考えると、整数と同じように分数の加減計算ができることを式や図を用いて考え、説明したりまとめたりしている。 【知】分数の加減計算の仕方を理解している。	【知】基本的な学習内容を見つけている。	

単元指導構成表 (4年 分数)										
次	第1次 分数の表し方				第2次 大きさの等しい分数	第3次 分数のたし算とひき算			第4次 まとめ	
時	1	2	3	4	5	6	7	8(本時)	9	10
目標	「真分数」「仮分数」の意味を知る。	「帯分数」の意味を知り、適用問題に取り組み、真分数、仮分数、帯分数についての理解を深める。	数直線をもとにして、仮分数を帯分数に、帯分数を仮分数になおす方法を理解する。		大きさが等しく表し方の異なる分数があることを理解する。	同分母の分数の加減計算の意味について理解し、その計算ができる。	同分母の帯分数の加法計算の仕方を理解し、その計算ができる。	同分母の帯分数の減法計算の仕方を理解し、その計算ができる。	学習内容の確認し、理解を確実にする。	発展問題に取り組み、単位のつめ、数についてを深める。
課題	いろいろな分数の表し方を考えよう。	いろいろな分数の表し方を考えよう。	仮分数を帯分数になおす方法を考えよう。	帯分数を仮分数になおす方法を考えよう。	大きさの等しい分数を見つけよう。	分数のたし算のしかたを考えよう。	帯分数のたし算のしかたを考えよう。	帯分数のひき算のしかたを考えよう。		
算数的活動	・ $1\frac{2}{3}$ の $\frac{2}{3}$ の長さの表し方を考える。	・ 適用問題に取り組む。	・ 仮分数、帯分数を数直線に表す。 ・ $9\frac{1}{4}$ を帯分数になおす方法を考え、説明する。	・ 整数が単位分数の何こ分かを考える。 ・ $2\frac{1}{3}$ を仮分数になおす方法を考え説明する。	・ 数直線を見て、分母が違う大きさの等しい分数を見つける。 ・ $1\frac{2}{2}$ と $1\frac{1}{4}$ の大きさを比べる。	・ $4\frac{3}{5} + 3\frac{2}{5}$ の計算の仕方を考える。	・ $1\frac{2}{5} + \frac{4}{5}$ の計算の仕方を考え、説明する。	・ $2\frac{1}{5} - \frac{4}{5}$ の計算の仕方を考え説明する。		
まとめ	分子が分母より小さい分数が、分子が分母より大きい分数を仮分数という。	整数と真分数の和で表されている分数を帯分数という。	$\frac{9}{4} = 2\frac{1}{4}$ $9 \div 4 = 2$ あまり1	$2\frac{1}{3} = \frac{7}{3}$ $3 \times 2 + 1 = 7$	$1\frac{2}{2}$, $2\frac{1}{4}$, $3\frac{1}{6}$ のように、表し方はちがっても大きさの等しい分数はたくさんある。	$1\frac{2}{5}$ をもとにして分子だけたして分けて計算する。	帯分数を整数部分と分数部分に分けて計算する。帯分数を仮分数になおして計算する。	分数部分がひけないときは仮分数になおして計算する。		
評価規準	【考え】真分数、仮分数ともに単位分数の何こ分の大きさで表されることをとらえる。 【知】真分数仮分数の意味を理解している。	【技】帯分数や仮分数の大きさについて図や数直線に表したり読み取ったりする。 【知】帯分数の意味を理解している。	【考】分数の大きさや表し方について、数直線をもとに考え、説明している。 【技】仮分数を帯分数に、帯分数を仮分数になおすことができる。 【知】仮分数を帯分数に、帯分数を仮分数になおす方法を理解している。	【考】分数の特徴として、大きさの等しい分数があることをとらえ、数直線を使って説明している。 【知】分子と分母の数から分数の大小関係を理解している。	【考】同分母の真分数や仮分数の加減計算の仕方を、単位分数の何こ分をとらえて考え、図や式を用いて説明している。 【知】同分母の分数の加減計算の意味を理解している。	【考】同分母の帯分数の加法計算の仕方を、帯分数の構造や既習の真分数の計算の仕方をもとに考え、図や式を用いて説明している。 【技】同分母の帯分数の加法計算ができる。	【考】同分母の帯分数の減法計算の仕方を帯分数の加法計算の仕方をもとに考え、図や式を用いて説明している。 【技】同分母の帯分数の減法計算ができる。	【知】基本的な学習内容を身につけている。		

単元指導構成表 (4年 分数)										
次	第1次 分数の表し方				第2次 大きさの等しい分数	第3次 分数のたし算とひき算			第4次 まとめ	
時	1	2	3	4	5	6	7	8(本時)	9	10
目標	「真分数」「仮分数」の意味を知る。	「帯分数」の意味を知り、適用問題に取り組み、真分数、仮分数、帯分数についての理解を深める。	数直線をもとにして、仮分数を帯分数に、帯分数を仮分数におおす方法を理解する。		大きさが等しく表し方の異なる分数があることを理解する。	同分母の分数の加減計算の意味について理解し、その計算ができる。	同分母の帯分数の加法計算の仕方を理解し、その計算ができる。	同分母の帯分数の減法計算の仕方を理解し、その計算ができる。	学習内容の確認をし、理解を確実にする。	発展問題に取り組み、単位のつめを深める。
課題	いろいろな分数の表し方を考えよう。	いろいろな分数の表し方を考えよう。	仮分数を帯分数におおす方法を考えよう。	帯分数を仮分数におおす方法を考えよう。	大きさの等しい分数を見つけよう。	分数のたし算のしかたを考えよう。	帯分数のたし算のしかたを考えよう。	帯分数のひき算のしかたを考えよう。		
算数的活動	・ $1\frac{2}{3}$ の $\frac{2}{3}$ の長さの表し方を考える。	・ 適用問題に取り組む。	・ 仮分数、帯分数を数直線に表す。 ・ $9\frac{1}{4}$ を帯分数におおす方法を考え、説明する。	・ 整数が単位分数の何こ分かを考える。 ・ $2\frac{1}{3}$ を仮分数におおす方法を考え説明する。	・ 数直線を見て、分母が違う大きさの等しい分数を見つける。 ・ $1\frac{2}{2}$ と $1\frac{1}{4}$ の大きさを比べる。	・ $4\frac{3}{5} + 3\frac{2}{5}$ の計算の仕方を考える。	・ $1\frac{2}{5} + \frac{4}{5}$ の計算の仕方を考え、説明する。	・ $2\frac{1}{5} - \frac{4}{5}$ の計算の仕方を考え説明する。		
まとめ	分子が分母より小さい分数が、分子が分母より大きい分数を仮分数という。	整数と真分数の和で表されている分数を帯分数という。	$\frac{9}{4} = 2\frac{1}{4}$ $9 \div 4 = 2$ あまり1	$2\frac{1}{3} = \frac{7}{3}$ $3 \times 2 + 1 = 7$	$1\frac{2}{2}$, $2\frac{1}{4}$, $3\frac{3}{6}$ のように、表し方はちがっても大きさの等しい分数はたくさんある。	$1\frac{1}{5}$ をもとにして分子だけたしたりひいたりして計算する。	帯分数を整数部分と分数部分に分けて計算する。帯分数を仮分数におおして計算する。	分数部分がひけないときは仮分数におおして計算する。		
評価規準	【考え】真分数、仮分数ともに単位分数の何こ分の大きさで表されることをとらえる。 【知】真分数仮分数の意味を理解している。	【技】帯分数や仮分数の大きさについて図や数直線に表したり読み取ったりする。 【知】帯分数の意味を理解している。	【考】分数の大きさや表し方について、数直線をもとに考え、説明している。 【技】仮分数を帯分数に、帯分数を仮分数におおすことができる。 【知】仮分数を帯分数に、帯分数を仮分数におおす方法を理解している。	【考】分数の特徴として、大きさの等しい分数があることをとらえ、数直線を使って説明している。 【知】分子と分母の数から分数の大小関係を理解している。	【考】同分母の真分数や仮分数の加減計算の仕方を、単位分数の何こ分をとらえて考え、図や式を用いて説明している。 【知】同分母の分数の加減計算の意味を理解している。	【考】同分母の帯分数の加法計算の仕方を、帯分数の構造や既習の真分数の計算の仕方をもとに考え、図や式を用いて説明している。 【技】同分母の帯分数の加法計算ができる。	【考】同分母の帯分数の減法計算の仕方を帯分数の加法計算の仕方をもとに考え、図や式を用いて説明している。 【技】同分母の帯分数の減法計算ができる。	【知】基本的な学習内容を身につけている。		